

IT知識ゼロから 現場目線でDX推進

乾物食品の製造・販売を行う藤和乾物で生産管理を担当する大石さん。IT知識ゼロの状態でのDX推進役に抜擢され、独学でExcel VBAを勉強。製造部での経験を活かし、現場目線でのDXを推進しています。

大石 英徳さん (DXスクール受講生)

IT未経験者がDXに挑戦

3年前、社長から「デジタル化を進めたい」との要望があり、DX推進役に指名されました。IT未経験者でしたが、いろいろと調べていく中でVBAの存在を知り、無料のコンサルティング支援を活用して月1回の指導を受け、1年間勉強。社内ですることをやり尽くした後、さらなるヒントを求めてDXスクールに参加しました。技術継承の課題も感じていたため、若い社員と一緒に参加し、属人化の解消も目指しました。

現場の声を反映した 使いやすい製造日報 でペーパーレス実現

最初に取り組んだのは、3時間かかっていた在庫集計の自動化です。CSV出力データをVBAで処理し、20秒で完了するシステムができました。

次に製造日報のペーパーレス化に取り掛かりました。従来は手書きで記録し、管理上2年間紙で保管していましたが、タッチパネル式の入力フォームを開発しました。紙のフォーマットと同じレイアウ

トにし、キーボードを使わずボタン操作だけで完結する仕組みにしたことで、現場への導入もスムーズに。約1週間で現場社員の全員が使いこなせるようになり、「もう紙には戻れない」と高い評価を得ました。



DX事例

**在庫集計の自動化
3時間の作業が20秒に！**

AIで実現する次世代の生産体制



約2,000万円をかけたAI異物検査装置の導入を予定しています。上からカメラで撮影し、AIが異物を瞬時に検知。その後、人の目で最終確認を行う二重チェック

体制を構築します。

また、受注予測システムの開発にも挑戦中。半年以上にわたり試行を重ねており、曜日や祝日、季節要因など多様な変動要素がある中で、予測精度の向上に向けた改善を継続しています。

ふじえだDXリーダーズ プロフィール

- 【氏名】 大石 英徳 (おおいし ひでのり)
- 【所属・担当】 藤和乾物株式会社 / 製造部 課長・生産管理担当
- 【IT経歴】 2025年DXスクール参加。3年前からVBAによる社内DXを推進。専門は微生物学。前職は営業、IT知識はゼロからのスタート。現在は社内のDX相談役として頼られる存在。

Webサイト



活用している
DXツール

- Excel VBA
- NotebookLM
- RPAツール (Microsoft Power Automate)